

11・23原発ゼロ長岡市民ネット結成4周年のつとめ企画

ドキュメンタリー映画「日本と原発」をみて

《寄せられた感想より》

原子力発電の怖さを改めて認識。人類、地球の破壊につながることを「国破れて、山河なし」が理解できました。浪江町の廃墟の様子が胸を締めつけました。



今回の映画は私が「くじやないかな」と思っていたことが、科学的な根拠に基づいて証明されたことに感動しました。人類の発展のために使われない科学は、私たちの生活と相容れないものです。よくぞここまで事実に基づいて調査されたことに敬意を表します。



取り返しのつかない危険をもつ原発はやめるべきだ。

市民ネットガンバレ！

ほんとに長時間でしたが、これまでの復習であるだけでなく、新しいことも学べました。総合的な内容で、敬意を表します。多くの人に見てもらえる手だてをみんな考えていかねばと思います。

高学歴じゃない私ですが、今見た映画のような事をずっと思っていました。が、弁護士の方が同じ事を言っている事で、やっぱり自分の思っている事は正しいと再認識しました。多くの国民は詳しい事は知らされないまま、政府にだまされていると思います。どんなみんなに教えてあげてほしいと思います。



大飯の判決文には、ほんとうに心を動かされました。プリントアウトし文箱に入れて、時折読み返しています。なぜ、なぜ、再稼働なのでしょう。放射能のせいで救出できなかった命に対し、「謝罪せよ」と迫る言葉は、重みがあります。なぜ、再稼働なのでしょう。



国民の暮らしを無視した政治家の劣化ぶりには目をおおいたくなる。国家権力の暴走に「NO」をつきつけている弁護士さんに感謝です。